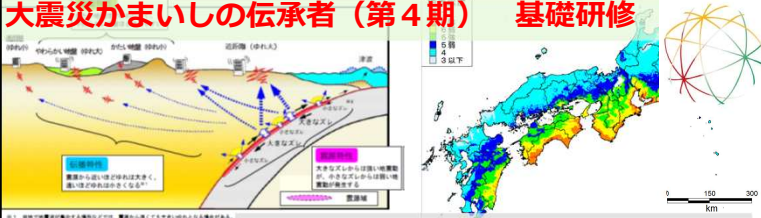


大震災かまいしの伝承者（第4期） 基礎研修



講義
地震のメカニズムと津波被害
—地震編—（30分）

岩手大学地域防災研究センター
山本 英和

日時：2024年1月28日【日】 9時20分～10時20分
場所：釜石市立鶴住居公民館



1

講義の内容（地震編）

- 東北地方太平洋沖地震とはどんな地震であったのか？
 - 地震動、震度
 - 地殻変動、余効変動
- 現在の地震の想定、地震動の想定、釜石市における想定
 - 同一地震でも地域特性（地盤、地形等）や卓越周期等によって被害は異なる
- 後発地震情報、最大クラスの地震・津波
 - 後発地震情報とは？
 - 日本海溝で発生する最大クラスの地震・津波とは？

2

東北地方太平洋沖地震はマグニチュード9.0

マグニチュード・震度と電球・明るさの関係

電球の位置 [震源域に対応]
電球の明るさ (ワット数) [マグニチュード (M) に対応]

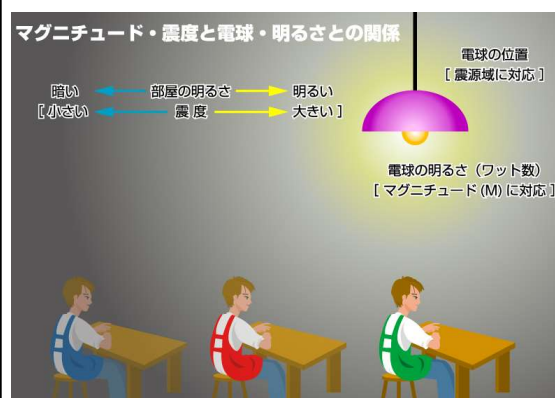
暗い ← 部屋の明るさ → 明るい
【小さい】 ← 震度 → 大きい

電球でいえばワット数

震度
ある地点の地震動の大きさを示す。

↓
机の明るさ

→ 同じマグニチュードでも震源からの距離や地盤によって震度（ゆれ）は異なる。
⇒ 東北地方太平洋沖地震の震度（ゆれ）分布は？



3

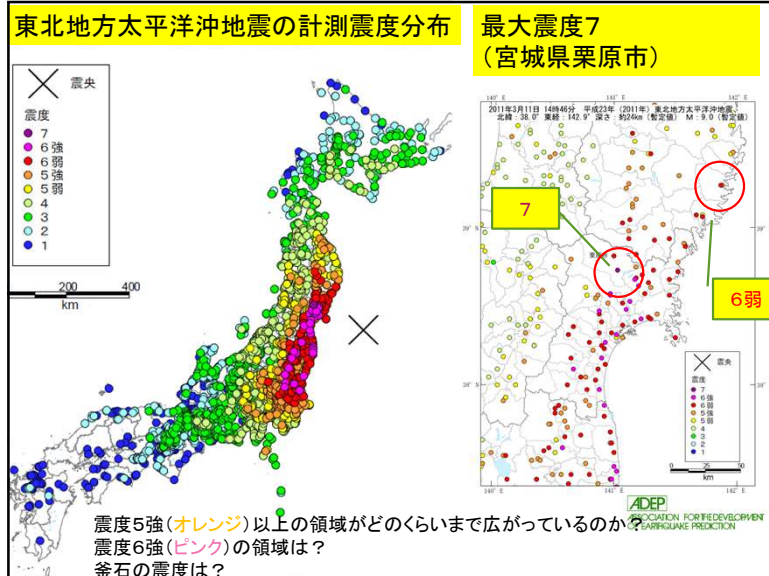
気象庁震度階級表

全部で10階級
震度4あたりからほとんどの人が気づく。
震度5弱から被害がはじめる。
震度5強あたりが確実に被害が発生する目安。

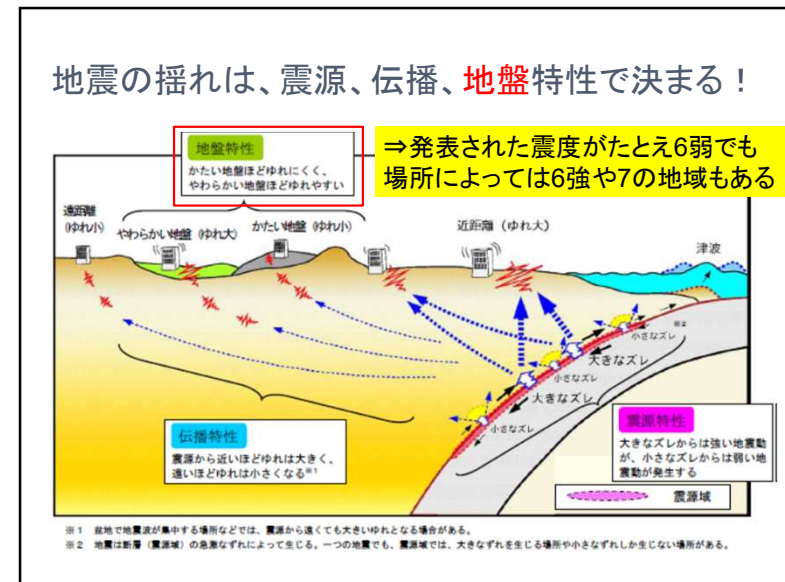


【震度0】
ほとんどの人が気づかない。
【震度1】
ほとんどの人が気づく。
【震度2】
ほとんどの人が気づく。
【震度3】
ほとんどの人が気づく。
【震度4】
ほとんどの人が気づく。
【震度5弱】
ほとんどの人が気づく。
【震度5強】
ほとんどの人が気づく。
【震度6弱】
ほとんどの人が気づく。
【震度6強】
ほとんどの人が気づく。
【震度7】
ほとんどの人が気づく。

4



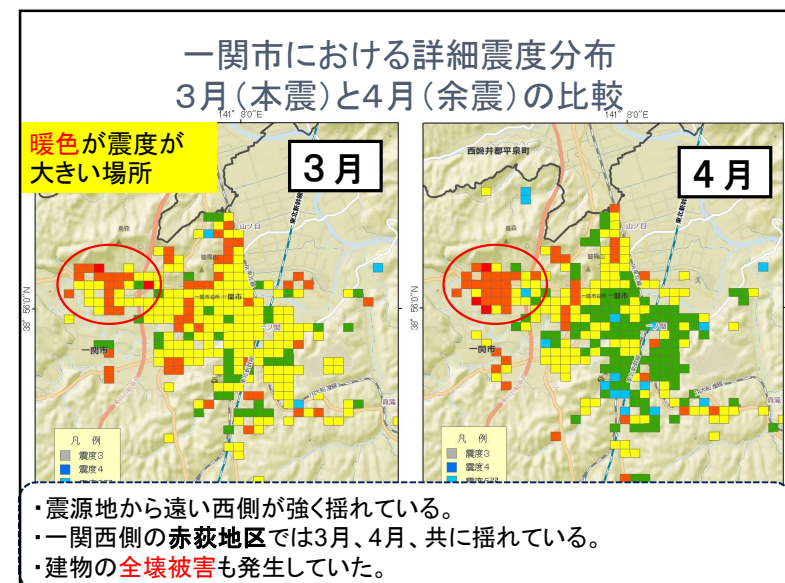
5



6



7



8